

びわ湖「ヨシ植え・松林の遊歩道づくり」イベント

ビオトープ便り

地区 近畿地区

40号(平成24年12月20日作成)

タイトル びわ湖「ヨシ植え・松林の遊歩道づくり」イベント

データ 滋賀県野洲市

通信員 近江花勝造園(株) 西川 勝



びわ湖「ヨシ植え・松林の遊歩道づくり」イベント

平成 24 年 11 月、滋賀県野洲市あやめ浜でヨシ植えと松林の遊歩道づくりのイベントが行われました。5 年目の参加になります。

琵琶湖岸のヨシ群落の再生及び松林の保全を狙いとし、地域住民の参加を図ったものでした。水資源機構と野洲市が主催し、中主漁業協同組合と地域住民の意見を参考にして進められ



多くの方々に参加いただきました

当日は天候に恵まれ、市外からの人たちの参加もあり、約 150 人もの人たちが集まりました。ヨシ植えは「みんなでヨシ帯を増やそう」をスローガンに、浜辺に約 700 株を植えました。遊歩道づくりは、あらかじめ用意しておいた松のチップを林床に敷設しました。

使用したヨシ苗は、現地付近に生育している既存のヨシ帯より種子を採取、育苗したものを、地域の個性や生態系に配慮した工法を心がけました。

このイベントの下準備として、二次林より枝打ち・間伐した材を用いて波浪の影響を緩和するため、及び魚類産卵場所の効果も期待できる消波提を設置。ヨシ苗を固定した竹杭も、地域で手に入る素材を用いました。同時に、漂砂防止効果も考慮し、ヨシの生育基盤の安定化を図っています。また、植栽工法は大株移植法、ポット工法、地下茎植栽の 3 種類を実施。滋賀県内でこの 3 工法を同じ現場で本格的に実施する事例は少ないので、今後の経過が楽しみです。



みんなでヨシを植えています



松林保全 チップ敷均し

一帯にヨシ原が広がっていたそうなので、今後、昔ながらの景観が復元されていくことを願うばかりです。参加された方々は、



植栽されたヨシ

生態系の復元、漁業資源の確保などを願ってヨシ植栽を実行され、琵琶湖や自然環境について関心の高い方々でした。失われたヨシが復元していくためには、水位や気象条件など厳しい場面もありますが、自ら植えたヨシ達が生育していくのを楽しみに見守ってみたいと思います。